



博士前期課程 機械物理学専攻
博士前期課程 機械設計学専攻

- ◎ 機械物理学専攻および機械設計学専攻は、「世界と競い、社会に貢献する人材の育成」を目指し、大学院生のEU圏における学習・研究活動を支援しています。日本で培われた実践重視の思考の下で、イタリアの理論重視の思考を生身で感じ、両者を融合させた新たな考え方を身に付けてください。
- ◎ ウーディネ大学では、講義や研究以外にインターンシップに参加します。これを通じてEU圏での産業活動に関し、実践的な経験を積んでください。
- ◎ プログラム修了時に、本学とウーディネ大学からそれぞれ修士号を取得できます。ウーディネ大学で取得する学位は「Master in Mechanical Engineering」です。
- ◎ 興味のある方は、ぜひ一度機械物理学専攻長あるいは機械設計学専攻長へお問い合わせください。

Double Degree/Mechanical Engineering/Italy

ウーディネ大学 (UNIUD)

ダブル・ディグリー・プログラム

学生募集

出願要件 ・博士前期課程 機械物理学専攻または機械設計学専攻1回生
・英語能力がCEFR B2 (TOEICの場合785)と同様またはそれ以上の者
2026年4月20日(月) 17:00

出願締切
申請書類 申請書、英語能力証明書、志望理由書

渡航期間 下記いずれかの期間を選択
①2026年9月～2027年2月(博士前期課程1回生)
②2027年9月～2028年3月(博士前期課程2回生)
※ウーディネ大学での受講科目の関係から②を推奨します。その場合、修士論文の審査をウーディネでも受けるため、帰国は3月前半となります。

奨学金 要件を満たす場合、KITグローバル人材育成プログラム奨学金に申請できます。最大月額120,000円×渡航月数、渡航費支援200,000円(変更の可能性あり)
※奨学金の詳細についてはHP >国際交流>海外留学>留学奨学金をご参照ください。
奨学金は渡航年度の要項に基づいて審査が行われます。



出願要件、プログラムの詳細や
留学スケジュールはこちらから！

https://www.kit.ac.jp/international_index/go-program/#JDDD

ウーディネ大学 Università degli Studi di Udine

ウーディネ大学は、ベネチアから1時間50分ほどのイタリア北東部の都市ウーディネにあります。この大学は、1976年に同地域で発生したフリウリ地震からの復興のため、市民からの強い要望により設立された国立大学(創立1978年)です。経済・法学、医学、科学、人文・教育の4分野8学部があり、約15,000人の学生が在籍しています。現在、15以上の国際共同学位プログラムをもち、積極的な国際交流を展開しています。



京都工芸繊維大学

機械物理学専攻長、機械設計学専攻長

国際課 海外留学係 go@jim.kit.ac.jp



UNIVERSITÀ
DEGLI STUDI
DI UDINE



KIT-UNIUD Double Degree アカデミックカレンダー																											
KIT students	学年	1年次											2年次														
	時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	1年次渡航	KIT					UNIUD						KIT														
		専門科目履修 & 研究 (修士論文)					専門科目履修 & インターンシップ						専門科目履修 & 研究 (修士論文) ※修士論文審査会はKITにて実施														
	2年次渡航 (推奨)	KIT											UNIUD														
専門科目履修 & 研究 (修士論文)											専門科目履修 & インターンシップ & 研究 (修士論文) ※修士論文審査会は2月にKIT (オンライン)と3月にUNIUDにて実施																
UNIUD students	学年	1年次											2年次														
	時期	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	内容	UNIUD											KIT					UNIUD									
		専門科目履修											専門科目履修 & 研究 (修士論文) ※修士論文審査会含む					修士論文審査会									

ウーディネ大学短期留学体験談

ウーディネ大学では、材料・表面工学研究室に留学しチタン合金の諸特性に対して熱処理が及ぼす影響について研究しました。本学で所属する研究室にはない実験装置を利用することができ、今後当該装置を利用する際に役立つ知見を得ることができました。実習では、現地の学生に研究室や実験について指導していただき、また、彼らの研究やキャリアプランについての話も伺い、学生として研究にどう向き合うかを考える機会にもなりました。研究のほかにも、日々のランチを研究室のメンバーと一緒に食べたり、簡単なイタリア語を教えてもらったりしながら交流を深め、イタリアの文化を学ぶことができました。ウーディネ大学の方々は非常に温かく迎え入れてくださり、大きな不安もなく留学生生活を終えることができました。英語で話す抵抗感が薄れ、グローバルな環境で挑戦できる自信を得られた貴重な経験でした。(2025年度留学)

ウーディネでの生活を通して国際的な適応力を得たと考えています。研究活動では、拙いながらも専門用語を用いた英語でのディスカッションを日々繰り返し、結果について議論できる実践的な英語力を習得できました。特に印象深いのは、ウーディネ大学の研究室の方々の温かさです。非常に陽気な人柄で、留学生である私を常に優しく受け入れてくれました。研究室には修士課程の学生はもちろん、経験豊富なポストドクターや准教授の方々が多く在籍しており、皆さん英語が非常に堪能で、それぞれの分野に精通した優秀な研究員の方々と共に過ごす時間は、学生としての専門性を高める上でこれ以上ない刺激となりました。実験室外での生活を通して、イタリア固有の文化や価値観に触れることができました。この経験から、異なる背景を持つ人々を理解し、異文化を受け入れて協働する国際人としての振る舞いの重要性を学ぶことができました。技術者としての専門性と、グローバルに活躍するための素養の両面で大きな成長を遂げられたと感じています。他の学生へも挑戦して海外へ行くことを強くお勧めします。(2025年度留学)

